



# 第25期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

証券コード：5391





# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第25期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）における営業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

また、エーアンドエーマテリアルグループのCSRについてもご紹介申し上げます。

代表取締役社長

巻野 徹



当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、原材料価格の高騰や物価上昇の持続、さらには米国の通商政策の動向等、先行きを不透明とする要因も依然として存在しており、引き続き慎重な見極めが求められる状況にあります。

当社グループの主要事業領域である建設・建材業界におきましては、公共投資および民間投資のいずれにおいても増加傾向が見られました。なかでも、大阪・関西万博や震災復興関連の建設需要は堅調に推移しました。しかしながら、物価上昇に伴う資材価格の高騰、人手不足に起因する人件費の上昇等については、依然として注視が必要な状況が続いております。

工業製品・エンジニアリング事業領域におきましては、保温・築炉分野において世界的なアルミ需要の減少による影響が継続しております。一方、環境エネルギー分野におきましては、新たなエネルギー技術の開発が進展しており、再生可能エネルギーの活用を見据えた設備投資が活発化しております。また、造船業界におきましては、環境負荷の少ない船舶への需要が高まりを見せております。

このような環境の下、当連結会計年度の売上高は、建設・

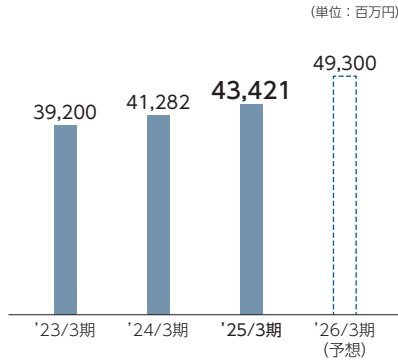
建材事業における販売価格の改定および工業製品・エンジニアリング事業における大型工事の完成により、43,421百万円（前期比5.2%増収）となりました。一方、利益面では、原燃料の高騰、労務費・物流費の増加など外部要因の影響を受け、さらに「M&A」による事業規模の拡大、「本社移転」による従業員の働き方改革、採用力・ブランド力の強化など、中長期的に当社の競争力と成長性を高めるための投資が大きく影響し、営業利益1,916百万円（前期比17.3%減益）、経常利益1,885百万円（前期比21.6%減益）となりました。特別利益として、経営資源の有効活用と財務基盤の強化を図るため、本社移転に伴い日本社の土地、建物を譲渡したことにより固定資産売却益を計上し、特別損失として、係争中のアスベスト訴訟の将来の損失への備えとして訴訟損失引当金を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失120百万円（前期は2,699百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

営業の概況は以上のとおりでございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

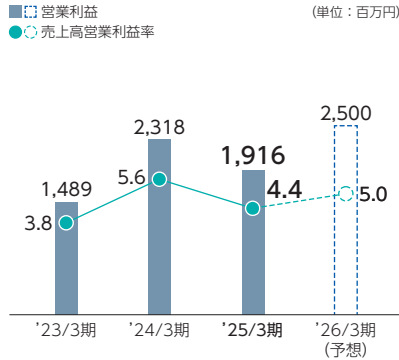


# 連結財務ハイライト／来期の見通し

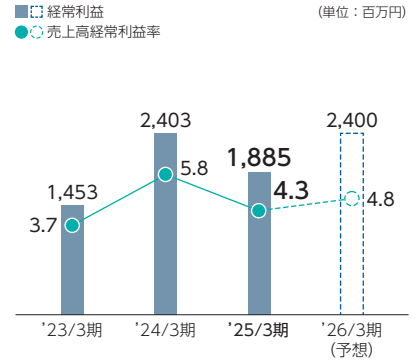
## 売上高



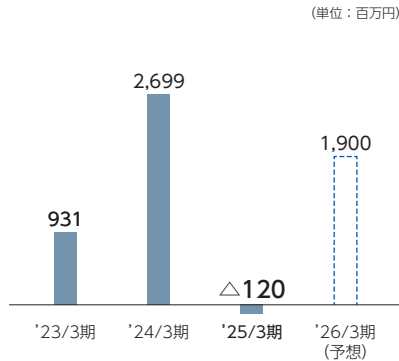
## 営業利益／売上高営業利益率



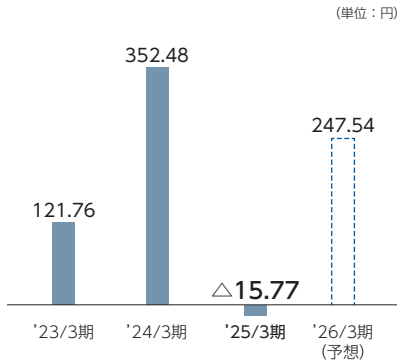
## 経常利益／売上高経常利益率



## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 1株当たり当期純利益



## 来期の見通し

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	2026年3月期配当予想
2026年3月期連結業績予想	493億円 ( '25/3期比13.5%増 )	25億円 ( '25/3期比30.4%増 )	24億円 ( '25/3期比27.3%増 )	19億円 ( '25/3期比－ )	1株につき 60円



# 事業概況

## 建設・建材事業部門



内壁腰壁 アデック木目

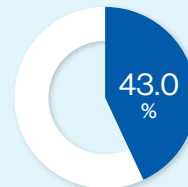
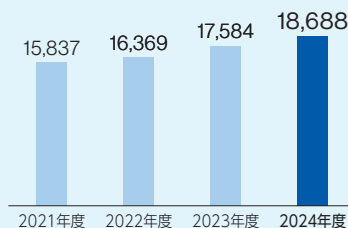
天井 ハイラックフネン®



売上高 **18,688** 百万円 (前期比 **6.3%**増)

売上高 (百万円)

売上高構成比



## 工業製品・ エンジニアリング事業部門



粉体圧送エルボ配管

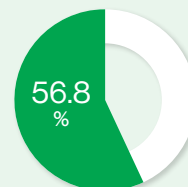
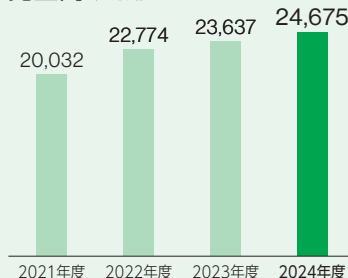
チェーンロッカー



売上高 **24,675** 百万円 (前期比 **4.4%**増)

売上高 (百万円)

売上高構成比



## その他

売上高 **57** 百万円 (前期比 **3.3%**減)

## 材料販売

国内では主力商品であるけい酸カルシウム板「ハイラックフネン®」は、大阪・関西万博の開催に向けた出荷が旺盛となりましたが、首都圏での大型再開発案件の工程遅延および住宅市場での販売低迷により出荷は前年に対して減少しました。曲面施工が可能なオリジナル商品「エフジー®ボード」は、文化・教育施設など非住宅市場で安定した採用率と販売数を維持しており、更にドライルーム用不燃化粧板「ステンド®#800ドライ」を始めとした高品質、高性能商品は前年を大きく上回りました。また、昨年末に発売したコンクリート調インテリアボード「BEoNA（ベオナ）™」は、お客様からご好評をいただき、順調なスタートを切りました。次年度では主力商品への成長を目指し採用活動を強化してまいります。海外輸出につきましては、中国・韓国の長引く景気低迷の影響を受けましたが、主要輸出先である台湾で市場のニーズに応じた販売戦略の推進により、主力商品であるけい酸カルシウム板の出荷が大幅に増加しました。国内外合わせた販売数量は前年に対しほぼ横ばいとなりましたが、様々なコストアップに対する価格改定と高付加価値商品の販売拡大に努め、売上高は増加しました。材料販売全体の売上高は増収となりました。

## 工事

前年度から稼働していた大型物件は完成しましたが、全国的に現場の躯体工事に起因する工程遅延が影響し、完工時期が来期となる物件も散見されました。また、仕入材料や労務費の高騰を踏まえ、得意先との厳しい価格交渉を重ね、適正価格による受注に努めております。

なお、建設・建材事業において2024年10月に、低圧メラミン化粧板、建材、家具等の製造・加工・販売を行う大昭和ユニボード株式会社（現ユニボード株式会社）の全株式を取得し、連結子会社としております。

## 材料販売

船舶関連では、自動車運搬船向けの防熱材や副資材の出荷が大幅に増加しました。また、セメント粉体運搬船向けの騒音対策床材、耐摩鋼加工品、遮熱・防熱塗料など、防熱材以外の船用製品の出荷も増加し、売上高は大幅に増加しました。保温・築炉関連では、世界的なアルミ需要減少の影響が続いており、海外向けのアルミ溶融設備向け断熱材「レセパル®HS」の販売は減少しました。一方で、カーボンニュートラルを目指す新規市場向けに高性能断熱材など各種省エネ資材のスペックイン活動が成果を上げ、売上に貢献しています。自動車関連は、一部メーカーの認証問題や能登半島地震によるサプライチェーンの不調による減産影響があったものの全体の生産台数は相応の水準を維持しており、売上高は堅調に推移しました。産業機械関連は、中国景気の停滞長期化により回復が遅れておりますが、得意先の在庫調整が進み、徐々にではありますが新規の受注が増え始めました。材料販売全体の売上高は増収となりました。

## 工事

一部人手不足による工期延期により引き合いの減少がありましたが、メンテナンス工事、LNG燃料船タンク保冷工事、物流施設外壁断熱パネル工事などの複数の大型物件の完工が寄与し、売上高は堅調に推移しました。また、工事工程・工事管理を徹底することにより、利益率の上昇に繋げております。

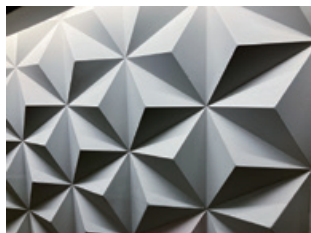


# トピックス

## 【無機質系人造木材「オーエスライトW」の販売開始】

けい酸カルシウムの結晶であるゾノトライトを主成分とし、合成樹脂、繊維原料などから成る無機質ベースの成型板で、不燃材料であると共に加工性にも優れている「オーエスライトW」の販売を開始いたしました。

木材の三大欠点といわれている「燃える・腐る・狂う」を克服し、なおかつ木材の加工性も兼ね備えた建築材料です。空港・ホテル・ブランドショップなど多くの建物の内装材に使用されます。



### 不燃性

国土交通大臣認定を取得した不燃材料です。



### 加工性

加工性については、木材のような加工性を有しています。更に繊維方向や節がないため、木材ではできなかったデザイン性を重視した様々なテクスチャへの加工が可能です。



### 寸法安定性

寸法安定性については、木材よりも反りや伸び縮みが小さくねつや湿気の影響を受けにくいので寸法安定性に優れた無機質系材料です。



### くぎ・木ねじ保持力

くぎ・木ねじ保持力については、木材に匹敵するくぎ引き抜き抵抗、木ねじ保持力を有しています。

## 「健康経営優良法人」 & 「くるみん」 認定の取得

サステナビリティ方針に基づき、テーマに掲げている「快適な職場づくり」と「ダイバーシティの推進」を実現するため、エーアンドエーマテリアルグループは「健康経営優良法人」と「くるみん」の認定取得を目指してまいりました。

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することであり、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、業績向上や株価向上につながると期待されています。

そうした取り組みの中で、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」し、社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的として、「健康経営優良法人認定制度」が設けられています。



このたび、グループ4社【(株)エーアンドエーマテリアル、(株)エーアンドエー茨城、(株)エーアンドエー大阪、(株)エーアンドエークレスト (申請時社名：エーアンドエー工事(株))】が、経済産業省が創設し日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2025 (大規模法人部門)」に初認定されました。

エーアンドエーマテリアルグループは、今後、この取り組みをグループ全体に展開し、従業員の心身の健康と快適な職場環境の実現を目指してまいります。

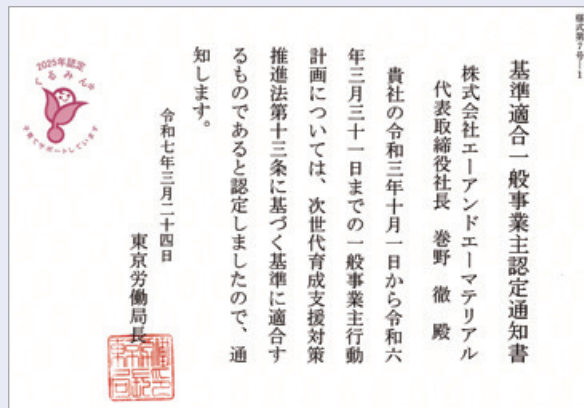
また、子育てサポート企業の証である「くるみん」について、(株)イーアンドエーマテリアルと(株)アスクテクニカが初めて認定を取得いたしました。

「くるみん」は、次世代育成支援対策推進法※に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業が申請を行うことによって、子育てサポート企業として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができる制度です。

男性が育児休業を取得しやすい環境を整えていくことはもちろんですが、すべての従業員が時間外労働を減らし、有給休暇取得率が向上できるよう、ワークライフバランスの実現に取り組み、継続して認定を受けられる企業を目指します。



くるみん認定書交付式（2025年3月12日 山梨労働局）  
左前列より、(株)アスクテクニカ・海宝社長、山梨労働局長様  
左後列 (株)アスクテクニカ・早川総務課長



※次世代育成支援対策推進法とは次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境を整備するために、国・地方公共団体・企業・国民が担う責務を明らかにした法律です。常時雇用する労働者が101人以上の企業は、労働者の仕事と子育てに関する「一般事業主行動計画」を策定し、都道府県労働局に届け出ることが義務付けられています。



# 環境に配慮した企業であるために

## マテリアルバランス

当社グループでは、事業活動における様々な環境への影響を把握、管理して、天然資源、副産物の有効活用や環境負荷の低減等の努力を続けています。



\* 塩化メチレン排出量5.3tonのうち3.8tonは事業場移動量

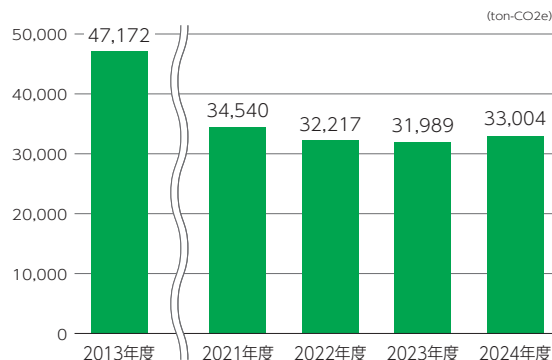
## ① GHG排出量

当社グループは、サステナビリティ方針にて2050年におけるカーボンニュートラル実現を掲げています。また、CSR2033においては、GHG売上高原単位を2013年度比50%削減するという目標達成に向けてGHGの削減に努めています。

その結果、2024年度の当社グループのスコープ1,2に関するGHG排出量は33,004tとなり、2013年度比では30%減少となりました。また、同GHG売上高原単位は、2013年度比42.2%の減少となりました。長期経営構想「Vision2033」に基づいたM&A戦略により新たなグループ会社が増えたこと等の影響もあり、GHG排出量は前年度比3.1%の増加となりましたが、GHG売上高原単位は前年度から1.1%減少となりました。引き続き、生産工場を中心とした省エネ設備の導入を継続すると共に、再エネ由来の電力購入の継続・拡大に努め、GHG排出量の削減に取り組みます。

## 当社グループのGHG排出量推移

※調整後排出係数



## ② 産業廃棄物再生利用率

当社グループ生産工場での再利用はもちろん、高い再生利用率を誇るグループ会社が新たに加わったことや資源としてのリサイクルを企図して他社に有償で引き取りをお願いすること等により、埋立処分量の削減に努めた結果、前年度比8.1%増の85.4%となりました。

今後も他社と共創し、CSR2033の中期目標である2033年度までに産業廃棄物再生利用率96%以上達成を目指します。



## ～ CSRトピックス ～

### 本社移転について

当社およびグループ会社の株式会社エーアンドエークレスト、アスク・サンシンエンジニアリング株式会社は2025年2月に本社を横浜市鶴見区から東京都港区へ移転しました。

移転に伴い、オフィス内の環境が改善され、より柔軟な働き方へと変わり、従業員満足度の向上に貢献しております。

【執務室エリア】



フリーアドレスとなり、業務内容に合わせて席を自由に選ぶことができます。

【打ち合わせエリア】



眺望の良い場所でリラックスしながら打ち合わせすることができます。

【カフェエリア】



リラックスした雰囲気であり、昼食はもちろんのこと、業務をすることも可能なエリアです。

【カフェエリア】



一人で利用できる場所もあるため、集中したいときや一人で昼食を取りたい場合はこの場所を使用することができます。



# 会社概要／株式の状況

## 1. 会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	株式会社エーアンドエーマテリアル
住所	東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス27F
設立	1924年3月4日(大正13年)
電話	03-3458-9380(代表)
資本金	38億8千9百万円
従業員数	898名(連結) 209名(単体)
主な子会社	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 株式会社アスクテクニカ 株式会社エーアンドエークレスト 朝日珪酸工業株式会社 株式会社エーアンドエー茨城 株式会社エーアンドエー大阪 ユニボード株式会社

なお、2025年4月1日よりデコール株式会社を連結子会社としております。

## 2. 株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株 (1単元 100株)
発行済株式総数	7,758,189株 (自己株式19,811株を除く。)
株主数	6,446名

## 3. 役員 (2025年6月27日現在)

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	巻野 徹	常勤監査役	松井 雄一郎
取締役副社長執行役員	大橋 徹也	監査役(社外)	鶴見 真利子
取締役専務執行役員	大島 武人	監査役(社外)	中谷内 茂樹
取締役専務執行役員	高原 一登		
取締役(社外)	田倉 榮美		
取締役(社外)	菅谷 朋子		

### 執行役員

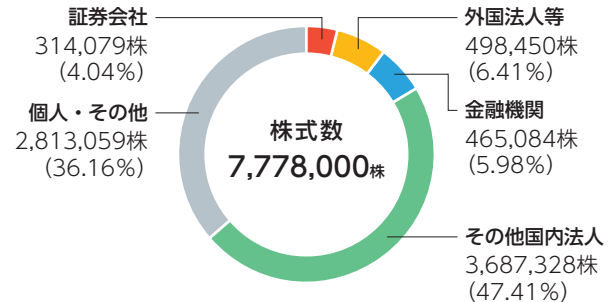
常務執行役員	國本 正臣
常務執行役員	市川 智司
執行役員	田中 隆敏
執行役員	小野 雅宏

## 4. 大株主 (2025年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	32,915	42.42
明治安田生命保険相互会社	2,313	2.98
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,578	2.03
エーアンドエーマテリアル社員持株会	1,401	1.80
ヨシダ トモヒロ	1,383	1.78
株式会社不二商会	855	1.10
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	828	1.06
松井証券株式会社	825	1.06
上田八木短資株式会社	612	0.78
江藤栄治	542	0.69

(注) 持株比率は、自己株式19,811株を控除して計算しております。

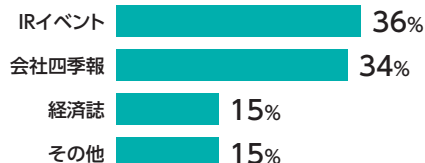
## 5. 所有者別分布状況 (2025年3月31日現在)



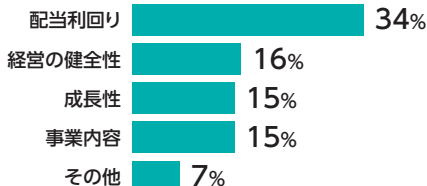
昨年の中間報告書の際にお願いいたしましたアンケートの集計結果(上位項目)についてご報告申し上げます。ご回答いただきました株主の皆様、ご協力ありがとうございました。当社グループは、今後も定期的に株主様アンケートを実施し、得られた調査結果を貴重なご意見として、今後の活動へ反映させてまいります。



あなたは当社をどこで知りましたか?(複数選択可)



当社に投資する決め手となったポイントは何ですか?(複数選択可)



## 株主メモ

### 事業年度

4月1日～翌年3月31日

### 剰余金の配当基準日

3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

### 定時株主総会

毎年6月下旬

### 単元株式数


100株

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社

### 公告方法

電子公告 (<https://www.aa-material.co.jp>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせをお願いします。  みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。

ホームページのご案内 ▶ <https://www.aa-material.co.jp>

なおIR情報ははじめ当社の最新情報は、当社ホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

